

金沢城公園中期経営目標取組状況(令和2年度)

中期経営目標(実施期間 H30～R4)

- ①北陸新幹線金沢開業年の入園者数を維持し、更なる増加を図ります。
- ②利用者アンケートによる満足度は、95%以上を目指します。
- ③北陸新幹線金沢開業年の利用者1人あたりの一般財源投入額を維持します。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値	実績値(R2)	中間目標値(R2)	最終目標値(R4)
①入園者数	2,383千人	1,205千人	2,300千人	2,400千人
②利用者アンケートによる満足度	91%	99%	95%以上	95%以上
③利用者1人あたりの一般財源投入額	84円	221円	80円	80円

2 令和2年度における主な取組内容

(1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取組

①施設の利用促進に向けた取組

・例年、当事務所の自主事業として行っている「城と庭のもてなし事業」について、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一部中止又は縮小に追い込まれたが、感染予防対策を講じながら、以下のイベントを実施しました。

〔 8月：ひやくまんさんとお抹茶体験、10月：ひやくまんさん花壇・花飾りによるおもてなし、11月：まいどさんによる金沢城公園ライトアップツアー、2月：放鷹術の実演、2～3月：金沢城公園スタンプラリー、8～10月：鶴の丸イブニングライブ(計7回) 〕
 ・兼六園と金沢城公園をより深く理解し後世に継承していただくことを目的に「城と庭の探究講座「金沢城大学」」を10月から2月にかけて計10回開催しました。

②サービス(満足度)向上に向けた取組

・高齢者や身体が不自由な方への配慮に努めるとともに、運営スタッフの接客研修を実施し、利用者へのサービス向上に努めました。

(2)施設運営の効率化に向けた取組

・エネルギー節減の意識を高め、光熱水費等管理コストの縮減に努めました。

(3)その他の取組 (1)、(2)以外の取組があれば記載

3 令和3年度における取組内容の見直し等

・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、サイン等の注意喚起や、消毒液の設置、施設内の換気などに努め、安心して公園を利用していただけよう、引き続き、感染防止対策に努めます。
 ・例年実施している「城と庭のもてなし事業」や「金沢城大学」などは、密とならないよう、新型コロナ感染防止対策を講じながら、参加者の満足度を落とさない工夫をして実施します。